

# 各対策の取り組みについて

# 1. 交通安全対策の取り組みについて

## 令和4年度 交通安全啓発運動

### [春の全国交通安全運動啓発]

日程	開催イベント	場所
令和4年4月8日	街頭啓発	西友水口店
令和4年4月9日		フレンド마트甲南店
令和4年4月10日		道の駅 あいの土山
令和4年4月13日		城南交差点
令和4年4月15日		フレンド마트信楽店

### [夏の交通安全県民運動啓発]

日程	開催イベント	場所
令和4年7月16日	街頭啓発	ジョイショッピングセンター甲賀店

### [秋の全国交通安全運動啓発]

日程	開催イベント	場所
令和4年9月21日	街頭啓発	西友水口店
令和4年9月22日	パトロール啓発	柏木小学校エリア
令和4年9月24日	街頭啓発	ジョイショッピングセンター甲賀店
令和4年9月28日		アル・プラザ水口
令和4年9月30日		竜法師交差点

### [年末の交通安全県民運動啓発]

日程	開催イベント	場所
令和4年12月10日	街頭啓発	ジョイショッピングセンター甲賀店
令和4年12月12日		フレンド마트信楽店
令和4年12月14日		西友水口店
令和4年12月23日		竜法師交差点

### [高齢者交通安全教室]

日程	開催イベント	場所
令和4年9月28日	体験・実践型交通安全教室	甲賀自動車教習所
令和4年4月14日	高齢者サロンでの交通安全教室	下山区
令和4年11月22日		東名坂区
令和4年12月14日		ニューポリス区
令和4年12月14日	高齢者訪問による交通安全指導	甲南町
令和4年12月21日		東名坂区

### [自転車大会]

日程	開催イベント	場所
-	コロナのため中止	-

### [その他年間を通しての啓発]

- ・パトロール隊による広報巡回指導を実施
- ・企業及び小中学校等において交通安全教室を開催

・横断幕の掲示



# あなたの街の交通事故

(統計・分析だより 令和5年5月末)

甲賀市版

滋賀県警察本部  
交通部交通企画課

※高速道路の事故を除く

## 1 月別発生状況

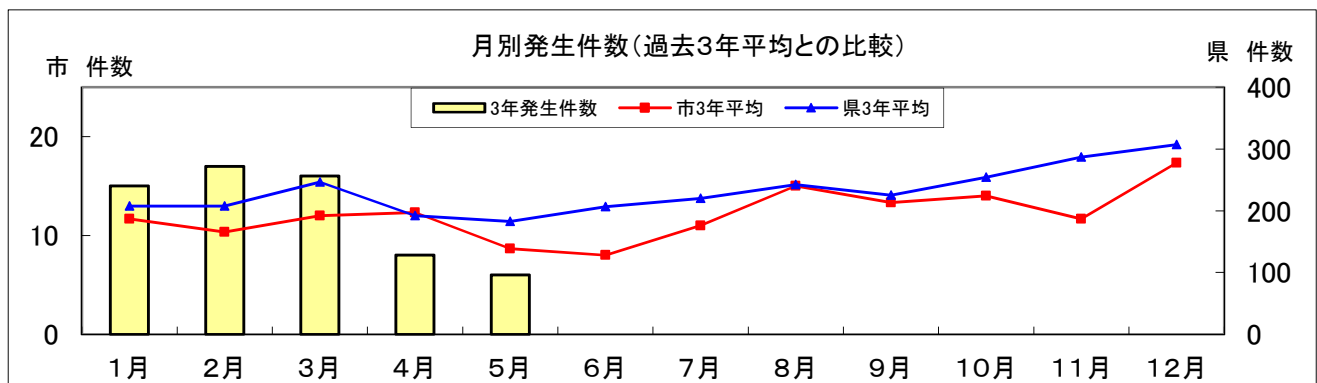
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
発生件数	15	17	16	8	6								62
前年比	+4	+6	+5	0	-2								+13
死者数													
前年比			-1										-1
負傷者数	15	19	20	10	7								71
前年比	-3	+6	+7	-1	-4								+5

< 分析メモ1 > (5月中)

○ 発生件数、負傷者数とも昨年同期に比べ減少

## 旧町別発生状況(右欄は前年比)

	水口町	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町
発生件数	34: +1	4: +1	8: +6	12: +6	4: -1
死者数					
負傷者数	39: -4	5: +1	8: +6	14: +5	5: -3



## 2 各種事故発生件数

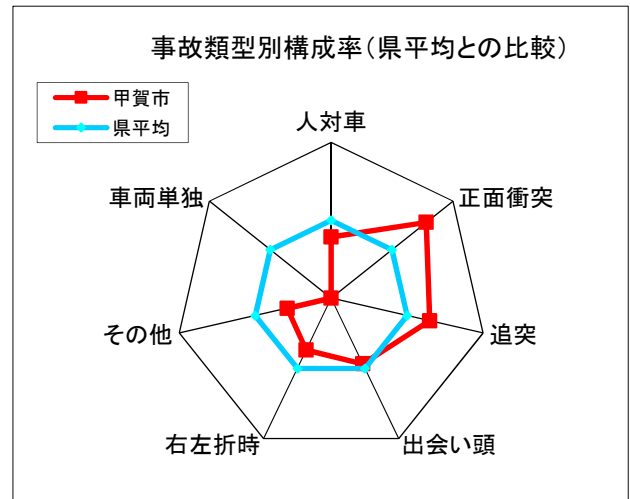
	歩行者事故	自転車事故	二輪車事故	子どもの事故	高齢者の事故	交差点事故	出会い頭事故
件数	6	10	1	4	18	21	16
全事故に占める割合	9.7%	16.1%	1.6%	6.5%	29.0%	33.9%	25.8%
順位(人口比)	12位	8位	13位	7位	9位	11位	10位

< 凡例 >

- \* 歩行者事故…歩行者が第1当事者又は第2当事者となった事故
- \* 自転車事故…自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故
- \* 二輪車事故…二輪車(自動二輪及び原付)が第1当事者又は第2当事者となった事故
- \* 子どもの事故…子ども(中学生以下)が第1当事者又は第2当事者となった事故
- \* 高齢者の事故…高齢者(65歳以上)が第1当事者又は第2当事者となった事故
- \* 交差点事故…交差点(付近を除く)において発生した事故
- \* 順位(人口比)は、それぞれの事故件数を各市町の人口で割った比率の大きい順による19市町中の順位
- \* 事故当事者のうち、違反(過失)がより重い者を第1当事者、軽い者を第2当事者という

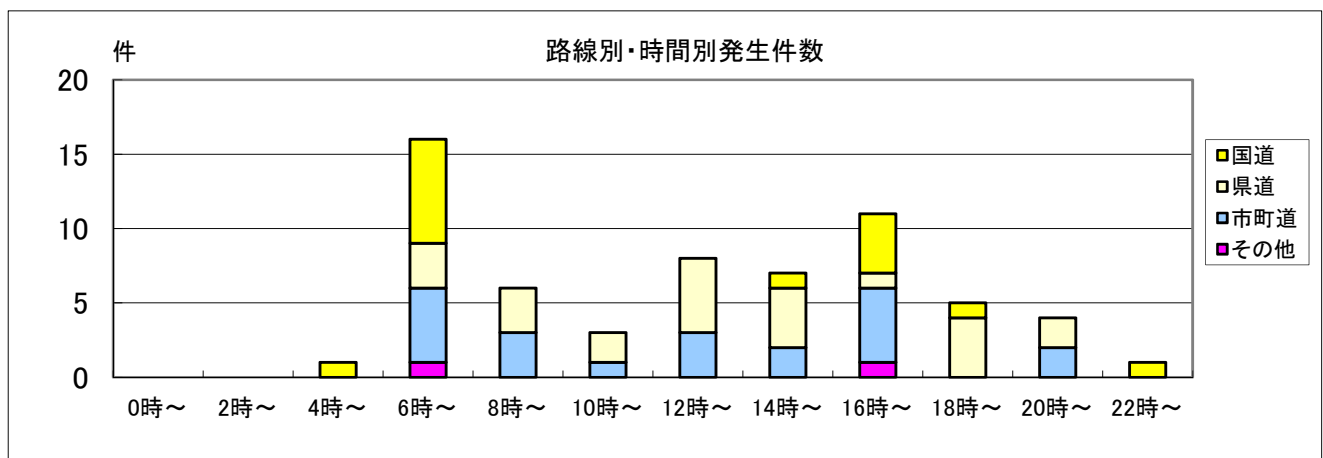
### 3 事故類型別発生件数

	件数	構成率	前年比
人対車両	6	9.7%	+1
正面衝突	2	3.2%	0
追突	30	48.4%	+5
出会い頭	16	25.8%	+7
右左折時	5	8.1%	0
その他	3	4.8%	+1
車両単独			-1
計	62	100.0%	+13



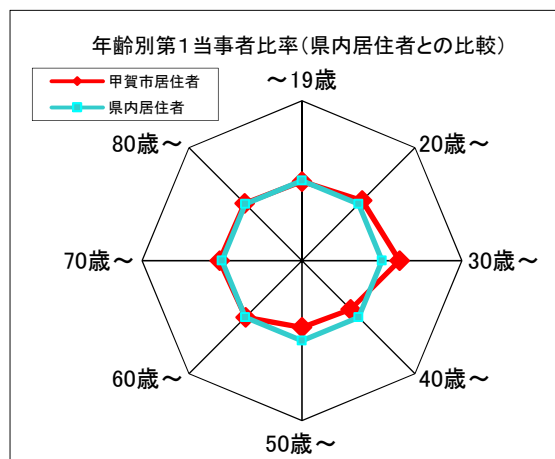
### 4 路線別・時間別発生件数

	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	合計
国道			1	7				1	4	1		1	15
県道				3	3	2	5	4	1	4	2		24
市町道				5	3	1	3	2	5		2		21
その他				1					1				2
合計			1	16	6	3	8	7	11	5	4	1	62



### 5 第1当事者年齢別発生件数

年齢	件数
～19歳	3
20歳～29歳	11
30歳～39歳	10
40歳～49歳	8
50歳～59歳	7
60歳～69歳	7
70歳～79歳	8
80歳～	3



#### < 分析メモ 2 >

○追突事故の構成率が高く、県平均37.3%を11.1ポイント上回る。

○6～8時での時間帯に発生する率が高く、県平均11.9%を13.9ポイント上回る。

※ 甲賀市内に居住する人が、県内の人身事故で第1当事者となった数

## 2. 高齢者の安全対策

### ●交通安全啓発

#### ・児童登下校時の見守り活動

土山:12クラブ (西野、上北部、北部、頓宮、前野、市場、徳原、三軒家、里寺前、片山、今宿、末田)

甲賀:16クラブ (櫛野、神、大原上田、拝坂、鳥居野、相模、大原市場、高野、油日、田堵野、滝、和田、五反田、神保、隠岐、岩室)

甲南:16クラブ (寺庄、深川、稗谷、池田、竜法師、野尻、野田、杉谷、塩野、市原、柑子、下野川、下馬杉、耕心、ニューポリス、希望ヶ丘)

信楽:11クラブ (宮町、黄瀬、牧、勅旨、北部、江田、神山、柞原、杉山、小川、多羅尾)

- ・無事故無違反運動への参加勧奨
- ・高齢者交通安全講習の受講

### ●高齢者の安全安心な生活につながる取り組み

#### ・研修会の開催

令和4年10月7日(金) 甲賀農村改善センター

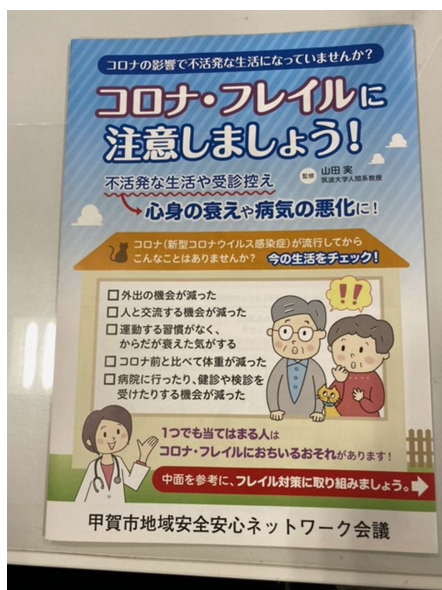
ゆうゆう甲賀塾 第2講座 「やってみよう・続けよう:人生100歳時代の体操」

講師:健康運動指導士 奥村留美子氏

#### ・屋内転倒予防グッズ(マグネット付きライト)の配布



#### ・啓発チラシ配布 「コロナ・フレイルに注意しましょう」



### 3. 子どもの安全対策事業<甲賀市青少年育成市民会議>

【令和4年度 実施内容】

#### ◆「地域のおじさん、おばさん運動」の展開

(趣旨) 地域の親・大人たちが子どもと向き合い、温かく見守ろうという気持ちで身近にできることから行動する

##### ▼登下校の見守り支援、あいさつ運動

(実施日) 通年

(活動内容) 「地域の子どもは地域で守り育てる」を合言葉に、登下校中の見守りやあいさつ運動により、子どもたちの安全を地域のみんなで推進



##### ▼子ども110番の車設置事業

(実施日) 通年

(活動内容) 子どもたちが安心して生活できるために、また大人と子どもとの信頼関係や地域の連帯意識を持つため、「子ども110番の車」を設置



登録車数：980台（前年度比-110台）  
（うちR4年度新規登録14台）

#### ◆非行や問題行動等の防止対策の推進

(趣旨) 「大人が変われば、子どもも変わる」を合言葉に家庭、学校、地域社会で大人たちがそれぞれの責任を果たしながら連携を図る

##### ▼白ポスト（有害図書等回収ポスト）の管理

(実施日) 7月、9月、12月、3月

(活動内容) 市内20箇所を設置の白ポスト内の有害図書等の回収



※有害図書等回収実績（年間の廃棄処分量：180kg）

雑誌	DVD	ビデオ	その他
313冊 (前年度比-425)	1,288枚 (前年度比+837)	56本 (前年度比 +23)	48 (前年度比 +37)

※白ポスト設置箇所

水口：4箇所、土山：9箇所、甲賀：2箇所、甲南：2箇所、信楽：3箇所

## ◆広報・啓発活動の推進

(趣旨) 次代を担う青少年の健全育成の必要性とそのための環境づくりについて、市民の理解と協力が得られるよう啓発を行う

### ▼青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間の啓発活動

(実施日) 7月

(活動内容) 市内各所にのぼり旗の設置を行うとともに、市内の商業施設や駅において青少年の非行・被害防止のため啓発物品を配布



### ▼研修会の開催

青少年の健全育成と青少年をめぐる社会環境について理解と認識を深め、青少年育成活動のより一層の推進を図ることを目的に開催

【対象者】青少年育成市民会議構成団体（青少年活動関係団体）会員・指導者

(実施日) 7月

講師：子どもたちにライジャケを！

代表 森重 裕二 氏

演題：思いはただ一つ…子どもたちの命を守ること

(実施日) 2月

講師：滋賀県スクールソーシャルワーク

スーパーバイザー 上村 文子 氏

演題：ヤングケアラーの理解と手立て  
～今こそ共助！地域で出来る未来への架け橋～



(参加人数) 180人



(参加人数) 70人

## ◆安全安心推進事業予算の活用

子どもの安全対策として交通立番等の目的に「安全対策用手旗」を制作し、市内小中学校に配布しました

【製作数】サイズ大 63本

サイズ小 42本



## 4.自殺対策事業（令和4年度の取り組みから）

### 【自殺予防対策ネットワーク会議】

開催日：第1回令和4年7月15日、第2回令和5年2月7日

協議内容：地域の課題を把握し、課題に対しての必要な対策、支援を連携しながら行うための協議

### 【ゲートキーパー養成講座】

内容：自殺について（現状）、メンタルヘルスの理解、ストレスとうつ病、ゲートキーパーの役割

#### ①健康推進連絡協議会

開催日：（水口）令和4年9月3日、（甲南、甲賀）令和4年9月4日、  
（土山）令和4年9月19日、（信楽）令和4年11月27日

参加者：（水口）85人、（甲南）71人、（甲賀）57人、（土山）30人、（信楽）31人、合計274人

講師：日本精神科看護協会滋賀県支部 井手祐樹 氏

②学校教員 開催日：（市小中養護教諭）令和4年8月5日  
（高校教員） 令和4年10月12日

講師：発達支援課心理士

講師：すこやか支援課保健師

③地域への出前講座 10人 講師:すこやか支援課保健師

### 【一般啓発】

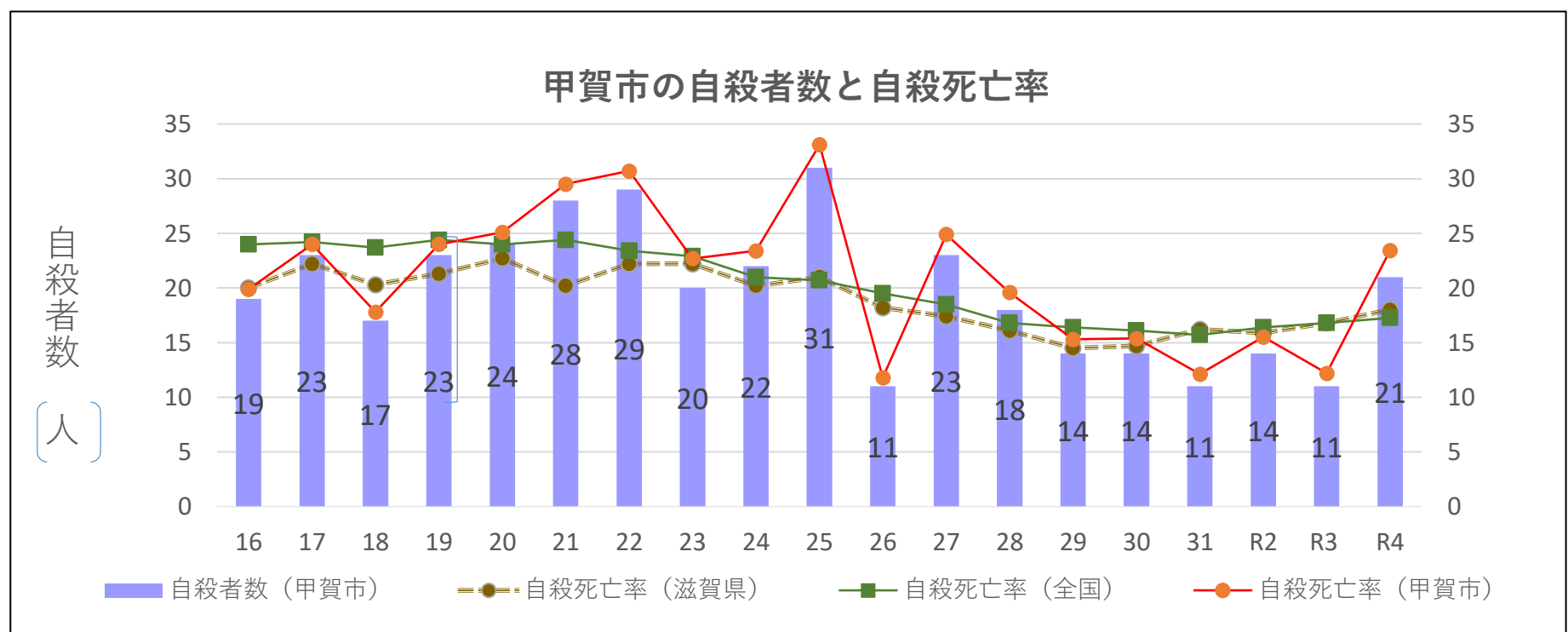
- ・啓発チラシ2,800枚配布
- ・中学3年生・高校3年生への啓発資材（ペン）配布（約1,500本）
- ・対策強化月間（3月）の周知
- ・各図書館での啓発ブース設置
- ・こころの体温計 約16,000アクセス

## 甲賀市の自殺に関するデータ

### 【現状と課題】

- ・自殺死亡率の年次推移をみると平成27年（2015年）から下降傾向であったが、令和4年（2022年）は増加した。
- ・男性の20歳代、50歳代と女性の70歳代の自殺死亡率は全国と比較して高い。
- ・自殺未遂者は増加傾向で令和3年度は女性が約7割を占める。
- ・令和3年度の自殺未遂者は、20歳代の占める割合が28%で最も多い。

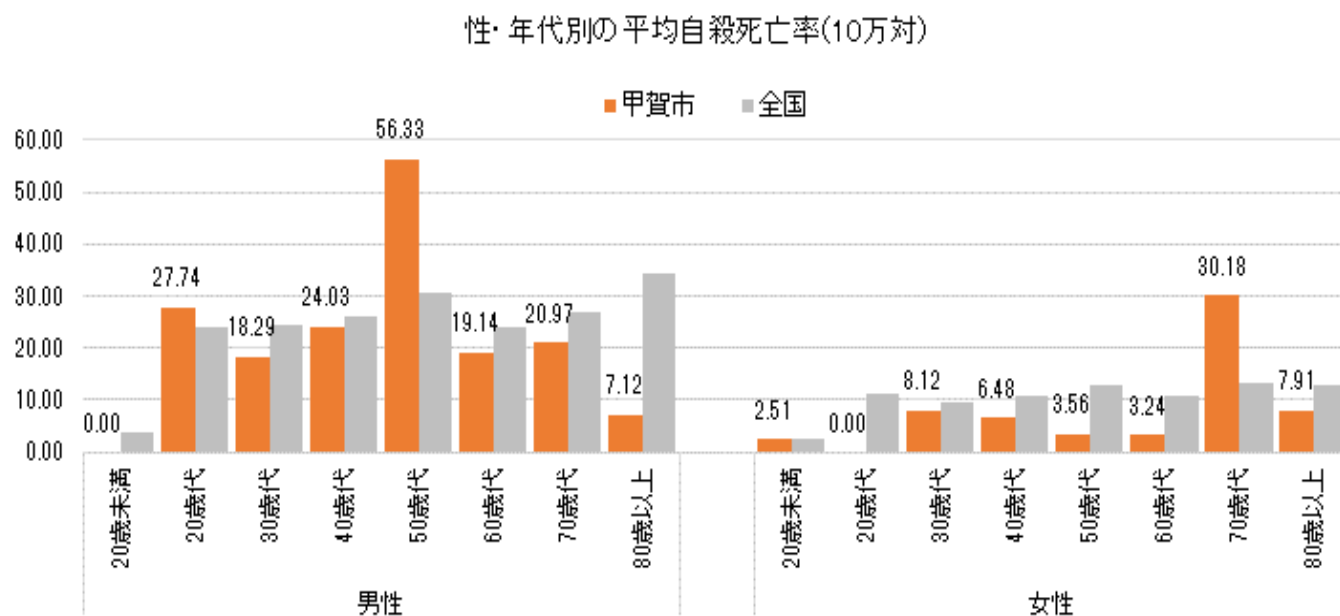
### 1. 甲賀市の自殺死亡者数推移





## 2. 全国と甲賀市における性別・年代別の平均自殺死亡率

\* 平成29年から令和3年の5年間の平均自殺死亡率

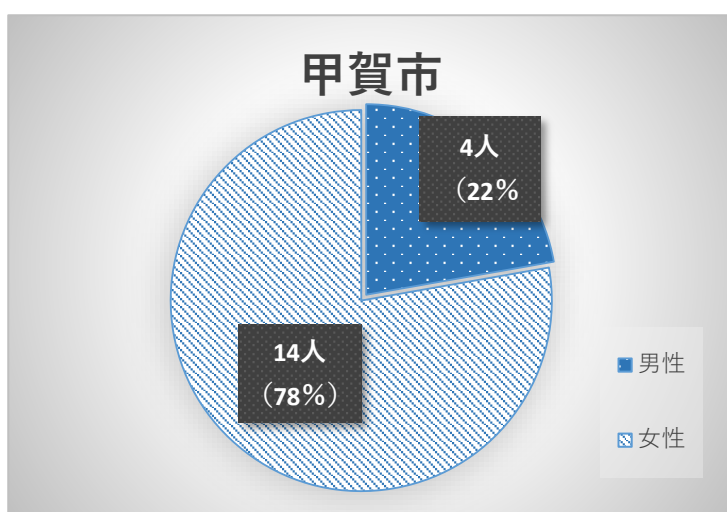


## 3. 自殺未遂者の状況（甲賀圏域における自殺未遂者支援事業連絡会議の資料より）

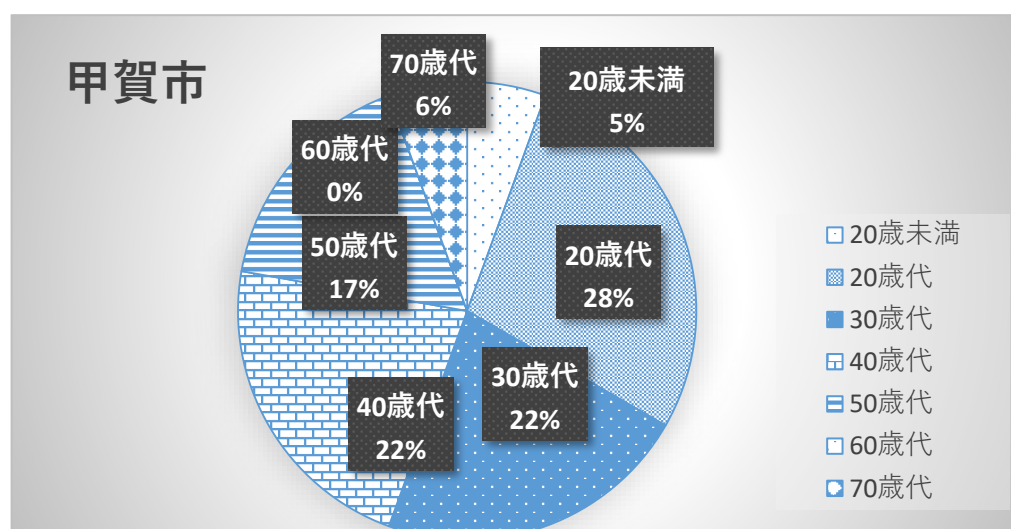
### ①連絡件数（医療機関より甲賀保健所に報告のあった件数）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
甲賀市	6	7	14	9	13	22	18
甲賀圏域	7	12	23	13	18	32	31

### ②性別（令和3年度）



### ③年齢（令和3年度）



### 【令和5年度の主な取り組みについて】

\* 未遂者支援対策

①初動ケース会議にてリスクアセスメントをチームで行い支援の方向性を検討し、再度の自殺未遂の防止

\* ゲートキーパー養成講座

①働き世代にむけて、企業人権推進協議会での実施

②民生委員児童委員への実施

\* 啓発

①相談窓口が掲載されているチラシの配布

②広報誌やホームページ、ライン、電子掲示板など様々なところでの相談窓口の啓発

③若年層に対する啓発の拡大と相談窓口やライン相談の啓発

\* その他（母子保健事業）

産後うつ病スクリーニングテストの実施（平成24年度より継続実施）

## 5. 災害対策の取り組みについて

### 1. 災害対策事業の主な実施状況（令和4年度以降）

#### 【令和4年度災害時逃げ遅れゼロ作戦の実施結果について】

##### （1）背景及び目的

今後発生が予想される南海トラフ地震や風水害等による大規模災害に備え、防災士が各区・自治会の自主防災組織や自治振興会と協力しながら地域防災力の向上、早期避難の強化を図り、災害時の逃げ遅れゼロを目的とする。

##### （2）報告数 ※令和5年3月9日時点

各町	地域種別	総数	実施数	実施率
水口	区・自治会	90	28	31%
土山	区・自治会	44	14	32%
甲賀	区・自治会	23	18	78%
甲南	区・自治会	25	13	52%
信楽	区・自治会	21	10	48%
全体	区・自治会	203	83	41%

##### （3）ふりかえり

- ・区、自治振興会のそれぞれができることを提示し、区と自治振興会の両方から報告してもらうようにする。
- ・令和5年度についてはコロナが明けたため、実施率を上げる。

#### 【彦根地方気象台出前講座】

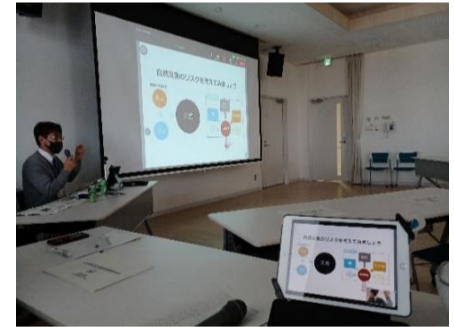
開催日：令和5年3月8日

講師：彦根地方気象台 尾上 和義氏

参加者：防災士50名

内容：「土砂災害に関する防災気象情報の活用」

（\*コロナ対策のため、オンライン方式と  
会場方式（まるーむ）の併催）



#### 【防災士連絡会役員会および全体会】

開催日：令和5年2月22日（役員会）、令和5年3月15日（全体会）

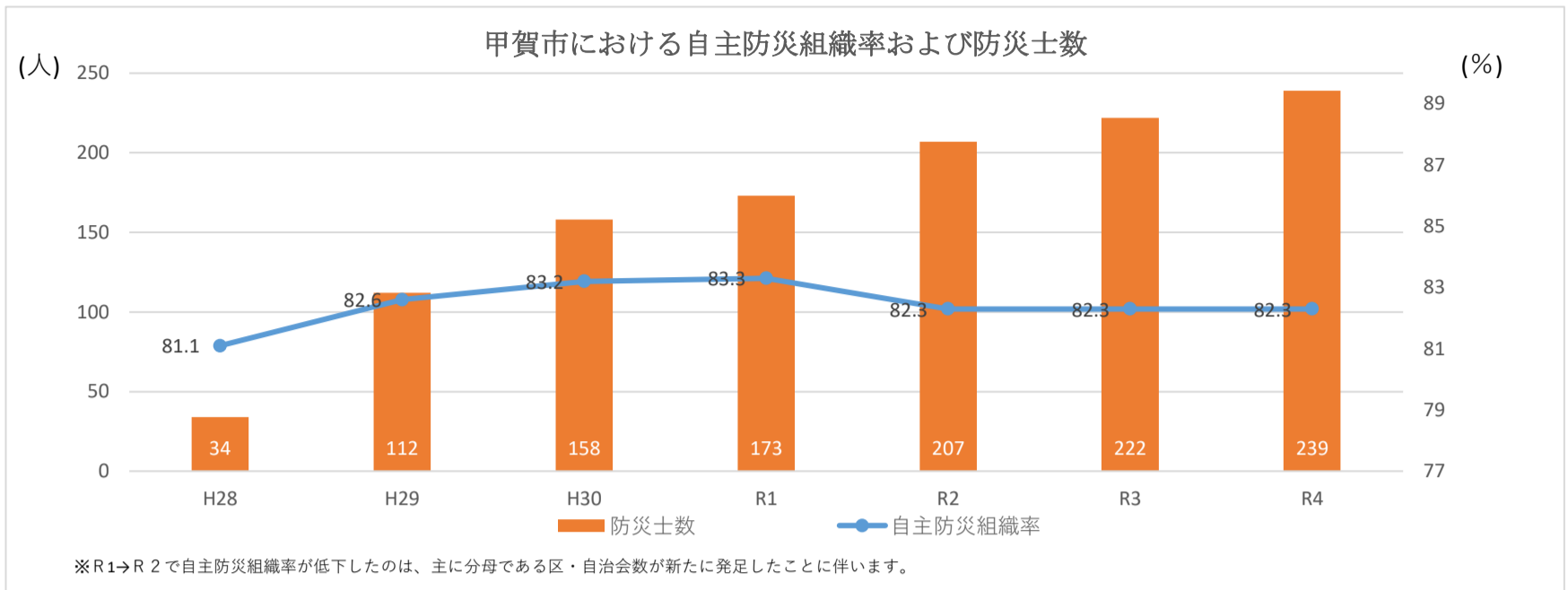
協議内容：災害時逃げ遅れゼロ作戦の実施内容について、書面開催にて検討した。

#### 【災害時逃げ遅れゼロ作戦ネクストの実施通知】

通知日：令和5年5月（区長会）

内容：市内各区・自治会および自治振興会に防災マップ等を活用する、災害時逃げ遅れゼロ作戦ネクストの実施を依頼。

## 2. 甲賀市の防災士と自主防災組織に関するデータ



### 【現状と課題】

- ・区、自治会と防災士の連携が取れていない地域もあり、防災士が地域の防災イベント等に参画できる仕組みを構築していくことが今後の課題である。
- ・防災士数は試験費用を助成しているため、平成28年度以降、単調増加している。
- ・令和4年度の女性防災士の数は**39名**、全体に占める割合は**16%**となっている。

## 3. 令和5年度の主な取り組みについて

### ①災害時逃げ遅れゼロ作戦ネクストの実施と結果報告

防災士と区・自治会のタイアップによる地区防災訓練を実施し、その後は訓練結果報告を事務局（危機管理課）へ提出することとしている。事務局は区と防災士のマッチングを適宜実施している。

### ②多羅尾豪雨水害70周年講演会の開催・ワークショップの実施（7/9）

#### 1. 被災された方による「語り部講演」

当時の災害が起きた際の土砂が迫ってくる様子や村の被害状況など、写真を用い具体的にお話しいただいた。また、発災時の村長の対応や、県や隣接町村などからの救援の様子についても語っていただいた。

#### 2. 滋賀県砂防課による「土砂災害に関する知識・備え方」の出前講座

土砂災害に関する基本的な知識や、いつどこが危ないか等、過去の災害事例を用いて講義いただいた。

また、土砂災害時の避難のポイントや避難行動の心構え等、土砂災害への備えについても講義いただいた。

#### 3. 防災ワークショップ

日本防災士会滋賀県支部長の久保氏から、地域単位のマイタイムライン作成についてのワークショップを行っていただいた。信楽地域の市議会議員や区長、防災士、民生委員児童委員などの代表者に参加いただき、想定被害が浸水と土砂災害のテーブルに分かれ、それぞれでマイタイムラインの作成を進めた。避難開始と避難完了のタイミングをより具体的に決めながら作成できたため、地域ごとの避難の参考にできる機会となった。

